

★ 開催日時、開催場所

令和5年9月14日(木)豊田産業文化センター内とよた男女共同参画センターにおいて、一般学科教員 山口比砂による公開講座「夏目漱石『ころ』の世界 — 青年たちの修養と恋愛 —」が開催されました。

★ 講座全体の説明

一般の方々を対象として開催された本講座では、『ころ』に描かれた明治20年代後半から30年代にかけて学生時代をすごしたエリート青年たちが、どのような思想を享受し、自分の指針としていたか、当時の時代状況などを踏まえて検証し、漱石が構築した小説世界の魅力を紹介しました。今回は、豊田市だけでなく、みよし市在住の方からの申し込みも多数あり、11名の受講生の方々が、漱石文学の世界を満喫されました。以前より継続して受講してくださっている方もあり、漱石の創作の軌跡を辿る貴重な講座となりました。

★ 講座内容の説明

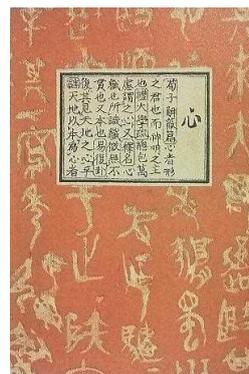
講座の前半では、まず、作品の成立過程について説明したうえで、精神世界を重視する当時の思潮の中、「修養」という軸が打ち出され、その後、それが次第に広がっていった時代状況を検証しました。そして、小説の主要人物が、その先駆的な存在として造形されている点について考察をしました。講座後半では、青年たちに影響力のあったプラトニックラブという新しい概念について検証しました。そして、翻訳語として誕生した「恋愛」が、北村透谷の評論『厭世詩家と女性』でどのように論じられ、また、その概念が『ころ』の中で、どのように息づいているかを読み解いたうえで、最後の場面の多様な解釈について考察を深めました。直筆原稿の修正箇所などをたどることで、制作過程から物語世界を考察することができ、漱石の物語構築力を、改めて認識する講座となりました。

★まとめ

本講座は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更となって、対面の講座への参加もしやすくなりました。受講生の方々には、対面の講座ならではの文学鑑賞の豊かな時間を存分に楽しんでいただけたのではないかと思います。場を共有して物語を読むことの意義を、あらためて痛感する貴重な講座となりました。



公開講座の受講風景



『ころ』初版本